

一日も早い復旧・復興に向けて 全力で取り組みます



9月17日に津久見市を襲った台風第18号では、朝から10時間あまりで約430ミリという記録的な豪雨となりました。河川の氾濫による中心部の大規模浸水や土石流・ガケ崩れなどにより、これまで経験したことのない災害となり、多くの市民が被害を受けました。

被災された方々に対しまして、謹んでお見舞い申し上げます。

災害発生から約1か月半が経過し、これまで飲料水の飲用制限や道路の寸断、ガレキや泥の撤去、さらには避難所生活を余

儀なくされるなど、市民生活に大きな影響をもたらしました。

発災直後から市民の皆様は各区・自主防災会、消防団、市内企業などとともに、片付け作業を続けてきました。全国から五千人を超えるボランティアの支援をいただくとともに、県や国、他の市町村、団体などから様々なご協力をいただきまして、多くの支援に対しまして、心から感謝申し上げます。

今後も、生活の再建や事業所の再開、農林水産業の支援、道路・河川・漁港の復旧、水路に溜まった土砂や汚泥の撤去、災害廃棄物の処理など、課題は山積しています。

市では、過去最大となる約40億円の補正予算を組み、一日も早い復旧・復興に向けて、全力で取り組んでまいります。

復旧には道半ばという状況にあります。最近では「がんばろう！津久見」の旗を掲げ、再開した店舗や活動する団体なども見られるようになりました。



「津久見モイカフェスタ+豊後まぐろヨコヅナ」もスタートしました。中心市街地の活性化や津久見の元気を取り戻すための取組も、市民の皆様と手を携え、心を一つにして、進めてまいります。

これからも復旧・復興の取組は続きます。市民の皆様には、体調に十分留意していただくようお願い申し上げます。

そして、笑顔と活力あふれる「誇りと自信に満ちたまち『津久見』」を目指し、共に歩んでいきましょう。

津久見市長 川野 幸男